

森づくり通信

No.36

2015年(平成27年) 6月 9日(火)発行 発行/金沢森づくりサポートバンク事務局
〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)
TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



竹林

「木を活かし 未来に届ける ふるさとの森」を大会テーマに、第66回全国植樹祭が天皇皇后両陛下をお迎えして、小松市の木場潟公園を主会場に行われました。

農林業関係者ばかりでなく県民全体が盛り上がり、全国に石川県をアピールできたと思います。

当協議会の門村会長も農林水産大臣賞を受賞され、私ども事務局も気を引き締めて皆さんと共に頑張りたいと思います。

平成27年度 金沢森づくりイベント情報(一般向け)

日程	イベント内容 (予定)	場所
6月20日(土)	きんしん東原の森づくり 植栽地の整備とちまきづくり	金沢市東原町(きんしんの森)
7月18日(土)	森のファミリースクール 木道ボード製作2&昆虫教室	医王の里オートキャンプ場
8月 4日(火)	こどもあおぞらウッドアート スギ間伐材で木工作	大乘寺丘陵公園
9月19日(土)	ツリークライミング&森のクイズラリー 専用ロープを使い木に登り自然との一体感を味わう	医王の里オートキャンプ場
10月3日(土)	きんしん東原の森づくり 森の整備とネイチャーゲーム	金沢市東原町(きんしんの森)
10月4日(日)	金沢北の森見晴らし台の整備 ネイチャーゲームで自然を学ぶ	金沢市堅田町(堅田城址)

新任ご挨拶

本年、4月から前任の浦上事務局長に代わり皆様のお世話になることに成りました、山田と申します。前職は金沢市役所の農業基盤整備に関わる仕事をしていましたので、多少なりとも中山間地にも関わる仕事をしてきましたが、森づくりに対して十分な理解があるとはいえません。

今後は皆様に協力を頂きながら一人でも多くの人達が、森と関わり理解を深めていただけるようにお役に立てれば幸いです。

今後ともよろしくお願いいたします。

金沢市林業振興協議会 事務局長 山田一二



森づくり活動 実施報告



元気な森林を守り育てるため、森づくり活動を行っています。

森林は、私たちの暮らしを守り、様々な恵みを与えてくれます。しかし、手入れの不足や放置されることで森林は荒廃が進み、その働きが充分発揮できず森の恵みや生物の多様性も減少してしまいます。

大切な森林を守り育てるため、一般市民、企業、地元、NPO 法人等の協力を得て森づくり活動を行っています

<問い合わせ先>金沢森づくりサポートバンク事務局 または 金沢市森林再生課 TEL:076-220-2217

4/16 (木) 5/10 (日) よねざわの森づくり

4/16(木)はよねざわグループの新人研修の一環として、39名が林道堺杉線と竹林の整備を行いました。

林道は側溝の泥上げを中心に行い、竹林整備は竹の間伐を行いイノシシに備えネット張を行いました。

5/10(日)の活動ではグループ103名が班に分かれてテーブルの新設、親子での参加者はシイタケ、きくらげ、なめこの植菌をした後ミニプランターを作りました。

恒例のBBQでグループ内交流を図りました。



4月26日 (日) ダンロップの森づくり

これまで秋に1回だった森づくり活動も今年からは年2回に増やし、キゴ山放牧場跡地のカラマツ林の整備に本格的に取り組み始めました。

昨年整備した所とまだの所が比較でき、整備を行った事が実感できました。

4営業所の桜記念植栽も行い、丸太ベンチを設置し作業終了後、会場を医王の里に移してBBQ懇親会と親子にはミニプランターを作ってもらいました。



4月25日 (土) 金沢テクノの森づくり

金沢テクノパークの企業5社の従業員、家族と一般市民130名が隣接するテクノの森を整備しました。

残材置場整理や散策路の間伐を行い、雑木を使い階段を作りなおしました。現地で育てたドングリの苗も移植し、今後計画している散策路増設の伐開も行いました。

作業終了後は休憩も兼ねてタケノコ入りメッタ汁とアルファ米を食べてから、キノコの植菌とネームプレート作りを行いました。



4月29日 (火祝) 竹やぶバスターズ①

市民親子34名で金沢テクノパークの竹やぶを整備しました。竹やぶもかなり解消され、今年からは「タケノコが採れる竹林整備と里山再生」と銘打ち、整備はもちろん継続してさらに一歩進め、タケノコが採れる竹林に育てる事と先人が里山として利用してきた事を踏まえ、現地でコナラの原木を伐りシイタケの植菌も行いました。

作業終了後は伐った竹で食器を作ってタケノコ入りのスパゲッティやメッタ汁をごちそうになりました。



5月5日（火祝）キゴ山山開きイベント

キゴ山の豊かな自然と魅力をアピールしキゴ山の認知度の向上、施設の利用促進を目指すとの事で「ミニ里山体験塾」の講師として呼ばれました。

午前と午後の部の2回それぞれ90分ほどの講座で、まずは森の働きなどの説明を行った後森林散策に出かけ、途中生えている植物の観察や炭焼き窯跡、戸室石など見ながらの里山の利用の状況など解説しました。



5月9日（土）友情の丘 森づくり

金沢市校下婦人連合会会員の皆さん40名が、医王の里の「友情の丘」において森づくり活動を行いました。

切土で過酷な条件の中、何年もの継続整備によってようやく植栽木、自然木などが成長してきました。

会員はクズのツル切、枯草集草、枯損木伐倒、折損木の枝払いや側溝の泥上げ等かなりのハードワークでしたが育ってきた木を見て積極的な作業が印象的でした。



5月23日（土）金沢職人大学校

金沢職人大学校では、藩政期から受け継がれてきた職人の技術を次世代の子ども達に伝えるため、子どもマイスターを設置しています。

子ども達は2年間かけて職人の技を学び、今回は材料となる木はどのように育てられるのかや森の働きなどを学んでもらいました。間伐伐倒見学と枝払いを行い、ロープで搬出体験をした後、間伐材を輪切りにして持ち帰りました。



5月24日（日）玉家の森づくり

玉家建設では2003年より、協力会社と力を合わせて湯涌地区の玉家の森で、継続的に森づくり活動を行っています。

今回は昨年植栽した木の杭の打ち直しとヒモの結び直し、下枝払い、丸太ベンチの設置、ホダギ場の作り直しなど160名の参加者で森づくり活動を行いました。

また、親子は森の中でフィールドビンゴを楽しみました。



5月29日（金）小將町中学校教室出前講座

例年は植林地作業当日森づくりの話などを行っていましたが、今年からは前日に全校生徒を体育館に集めて約50分間しゃべり続け、かなりの体力を消耗しました。

翌日(5/30)の学校林植林地作業の時に、森づくりの事や地球温暖化の事が少しでも頭の片隅に残ってくれて、作業を行ってくれればいいなーと思いながら体育館を後にしました。



5月30日（土）小將町中学校学校林整備活動

例年の現地集合ではなく、一旦学校に集合して徒歩で卯辰山の学校林に到着しました。

全校生徒、保護者、職員総勢350名程になり、校長挨拶に続き金沢市森づくり専門員から、安全なカマの使い方や植栽の仕方の説明を聞き、各学年に分かれ草刈の後、1学年あたりコナラとクヌギの苗を30本植えました。



森づくりの話 ⑧

今回はノコギリについてです。森林作業に持って行く時ノコギリ(手鋸)とナタがセットになっている二丁差しが便利で、ノコギリが移動中に落ちる事も少ないように思います。

チェーンソーが無い時代は伐倒から玉切り、枝払いなど無くてはならない道具で、私はナタが無くてはノコギリが重宝すると思っています。現在でも専門家は枝打ちに使い、チェーンソーが使えない小回りの利く作業もノコギリならできます。

ノコギリの使い方ですが海外では押したときに切れるようになっており、日本のノコギリは引いたときに切れるようになっています。切るコツはまっすぐ引いてまっすぐ押し出す事をイメージして、押す時に余計な力を加えず、ゆっくりで良いのでスムーズにリズムカルに動かすことです。あまり使ったことが無い人は力任せに早く切ろうとするので、本体が曲がったり余計な力を入れるので疲れてしまう人が多いようです。

どんな道具もメンテナンスが必ず必要で、防錆潤滑油を吹き付けてオガクズをふき取り仕舞います。金沢森づくりサポートバンクでは道具の貸し出しも行っていますが、道具を優しく扱い作業後は速やかにメンテナンスを行って、ご返却して頂けますようお願い申し上げます。

金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

「金沢森づくりサポートバンク」

<http://www.kanazawa-forest.com/supportbank/>

森づくりイベントの案内や会員の皆さんの活動の様子を掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどできるサイトとなっています。

貸し出しする道具の種類や予約・貸し出し状況が、ホームページ上で分かるようになっています。

また、サイト内には年4回発行の「森づくり通信」も閲覧できるようになっており、会員団体の活動紹介もさせて頂いております。

ぜひ1度ご覧ください。



編集後記 「竹」



竹は非常に有用な植物として以前は集落の近くに植えられ、食糧としてタケノコ、竹細工の材料として重宝されていました。

ところが昭和30年代から主にプラスチック製品に取って代われ、竹林は放置されるようになりました。竹林は竹やぶとなり、周りの里山を浸食し続け大きな問題になっています。

当協議会でも毎年4月末頃「竹やぶマスターズ」と銘打ち、竹やぶの整備活動を行っています。会員の皆さんもご参加いただければと思います。

ところで、代表的な竹と言えばモウソウチク、マダケ、ハチクですが、意外にもモウソウチクは竹林全体の2割強でマダケが6割、ハチクが5分らしいです。

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎

